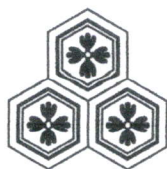


瀬戸内に建つ、400年の歴史

寺とも

かわら版



大利山

徳成寺

とく じょう じ

第224号 2025年8月 発行責任者／住職・大山健児 坊守・大山ひとみ

お坊さんの処方箋・虚仮不実の我が身

いつもありがとうございます。

住職の大山です。お盆は、年に一度ご先祖がこの世に帰って来るのを迎えする仏教行事です。これが年に一度ではあるのですが、毎年毎年巡って参ります。すると徐々に、去る者は日々に疎しと言わんばかりに、お盆への意欲が薄くなっていくのが伝わってきます。何もこれはお盆に限ったことではありません。ご先祖の年忌法要にしても、回を重ねることに、喉元過ぎれば熱さを忘れると言った具合です。このように人と思うと言いましても、期間限定・その場限りであることを親鸞聖人は虚しく仮そめで不真実であると自身を認識し「虚仮不実の我が身」と述べています。それだけで一生を終えるのは勿体ないと、仏法を聞き始めた人が、必ず通るのが「私は、ザルのようなもので、仏法を聞けども聞けども、水がザルを通り抜けていくように、何も身に付きません。」という疑問です。その疑問に蓮如上人にぶつけた人がいたようです。

すると蓮如さんは「そのザルを水につけよ」と教えました。つまり仏法と一つになって、仏法を主とし虚仮不実の

未知なる自分

大山超世の耳を澄ませば

お世話になります、副住職です。先月開催の徳成寺夏祭りDJパーティーにお越し下さった方々、ありがとうございました。通算3回目の開催となり、DJの面で初めて手応えを感じた一夜となりました。ディスコ音楽と聞くと、個人的には黒人アーティストのファンキーな音楽を想像していましたが、過去2回はそのアプローチでやってたのですが、参加者や先輩DJの方からの話を聞いていると、どうも私が想像しているディスコのイメージと乖離がある事が分かりました。そこで、今回は趣向を変えて、80年代に流行したイギリス音楽を中心に選曲をした所、お客さんに喜んでいただけで本当に嬉しかったです。さて、私自身はこの

の我が身を客人とせよと教えているのです。人生の主と客人があべこべになっている虚仮不実の私たちへの叫びなのです。

趣味を初めて12年目になります。

長い事やってもまだまだ知らない事は沢山あるし、好きなものでさえも色眼鏡で捉えていたなと気付かされる事があります。そう言った未知なる自分を教えてくれるのが音楽の良い所なので、出来る限り続けていきたいと思いました。写真は友達が撮ってくれたDJ中の私です。当寺は真宗、大谷、派なので、今回はDJのシャツのキャップとシャツを着てDJをしました。来年もお願いします。



DJをする副住職